

青ト言ルコトモアリ、本經逢原ニ本經所用藍實乃大青之子、是即所謂蓼藍也ト云、今漢種浙江大

青ト云者即蓼藍ナリ、江南大青ト云者即菘藍ナリ、菘藍蓼藍ノ形狀ハ十六卷藍ノ條下ニ詳ニス、

又鴨跖草アツバナニモ大青小青ノ二名アリ、遠志花ヒコギニモ大青ノ名アリ、

〔延喜式三十七〕諸國進年料雜藥

大和國卅八種略○中大青廿斤、伊賀國廿三種略○中大青廿七斤、近江國七十三種略○中大青二斤

十二兩、

〔新撰字鏡草〕羊蹄志乃禰○

〔本草和名十一〕羊蹄、一名東方宿楊玄操一名連蟲陸、一名鬼目、一名蓄楊玄操勅六反音一名秃菜、一名酸摸

仁音諷于一名蓄葛疑出稽一名姜根出范和名之乃禰

〔倭名類聚抄十七〕羊蹄菜、唐韻云、董丑六反、字亦作蓬、和名之布久佐、一云之、羊蹄菜也、

〔康賴本草草〕羊蹄、味苦寒、无毒、和シノ子、莖節間紫赤、花青白、成種子似牛蒡黃、

〔醫心方一〕羊蹄、和名之乃禰

〔類聚名義抄八〕羊蹄菜、シシフクサ、莖音勅、シフクサ、、蓬或、莖音涅、菜、生水中、

〔八雲御抄三上〕羊蹄、いちしのはな、万みちしげのといへり

〔藻鹽草八〕羊蹄

いちしの花、いちしはしはと云り、これ八雲御説也、又ある物には、いちごを

〔和爾雅七〕羊蹄並同、子名金蕎麥、

〔日本釋名下〕羊蹄、順和名に曰、しぶくさ、又曰、今案其味しぶし、故にしぶくさと云、又しと云は、

しぶくさを略せり、俗にもしのねと云草の事也、其根大黃に似たり、萬葉にも此くさをしといへ